

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年1月7日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年1月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機緊急時用窒素封入ホースの変形について】 窒素封入設備の監視パトロールにて、1号機緊急時用窒素封入ホースの一部が歩廊架台に踏まれた状態にあることを確認。 調査後、対応を検討。</p>	G II	12月26日
2	<p>【プロセス主建屋監視室における油分離装置用監視カメラのモニタ故障について】 プロセス主建屋内油分離装置用監視カメラの映像が免震棟監視室のモニタに表示されないことを確認。 点検後、健全なモニタと交換し、免震棟監視室での監視を復旧。 なお、当該装置の監視は、水処理設備シールド中央制御室のモニタでも可能。</p>	G III	12月27日
3	<p>【3号機復水貯蔵タンク用窒素ガス吹き込み装置用ホースからの漏えいについて】 原子炉注水設備の監視パトロールにて、3号機復水貯蔵タンク用窒素ガス吹き込み装置用ホースの亀裂部からの窒素の漏えいを確認。 その後、当該窒素ガス吹き込み装置を停止し、窒素の漏えい停止を確認。また、当該部以外に亀裂、漏えいが無いことを確認。 原因は、ホースと復水貯蔵タンクの雨どいとが接触していた部分でホースが劣化し、亀裂が生じたものと推定。 なお、復水貯蔵タンク内への窒素ガス吹き込みは、原子炉注水設備の水源の溶存酸素を低減し、炉内構造物の腐食等を緩和するために実施しているもの。 当該ホースの亀裂部を補修予定。</p>	G III	12月26日